



「真心のおもてなし」を合言葉に

小幡の無料休憩処「大手門ギャラリー」が11月末日をもって閉処し、12月4日に閉処式が行われました。

同所は、平成12年に甘楽町ふるさと活性化センターとして旧J A小幡事業所を改修してオープンしました。平成17年4月からは、町から委託を受けた「大手門ボランティア会」(茂原美代子代表・35人)の皆さんが14年8カ月の長きにわたり、年間約300日・累計4,354日(来客数8万31人)、交代で町を訪れる観光客に観光案内や湯茶のサービスなど温かなおもてなしを続けてきました。また、2階のギャラリーでは、小幡小学校児童の作品展やきり絵展など町民の皆さんの展示室として利用され、多くの人が訪れました。

閉処式では、会員の皆さんで今までのあゆみなどを振り返り、茂原町長から会員の皆さん一人ひとりに労いの花が贈られました。

大手門ギャラリーは1月中旬から取り壊しを行い、今後、歴史的景観に配慮した整備を進めていく予定です。



茂原さん(左)と書記の吉澤宣江さん

#### 大手門ボランティア会 会長 茂原美代子さん(小幡)

約15年間、地域の拠点、観光客のおもてなし処として活動し、多くの人との触れ合い、たくさんの楽しい出会いがありました。閉処には寂しい思いがありますが、支えてくださり、ご協力いただいた全ての皆さんに感謝申し上げます。



さまざまな出会いや思い出を残し、閉処した大手門ギャラリー



オラ  
**Hola!** ニカラグア  
**Nicaragua**



東京2020大会に向けて

## 甘楽町とニカラグアの 友好の絆を強く



ニカラグア共和国ロドリゴ・コロネル駐日特命全権大使から新年のメッセージをいただきましたので紹介します。

### 親愛なる甘楽町の皆さま

「心地良さと幸せ」にあふれた甘楽町が本当に大好きです。甘楽町の山々や川、渓谷、おいしい食べ物や本当においしい日本酒などに魅了されましたが、特に魅力を感じたのは、甘楽町の人々の素晴らしさです。

甘楽町を訪問し、皆さんに「さようなら」と言って帰り、甘楽町の美しい風景が視界から消え、東京での日常という現実に戻る時、いつも心には寂しさがかみ上げてきます。

このような友好的な関係を築くことができ、また「甘楽町は町民の皆さんも役場の皆さんも、『日本のおもてなしの心』の代表者としてふさわしいです」とほかの人たちに言えることを、誇りに思います。

いつも私を笑顔と抱擁で迎えてくれるので、心が温かくなり、うれしい気持ちもあふれます。この町に家を持ったような気分になり、これまで経験したことがないほどの喜びを感じています。

甘楽町の一員にしてくれた、皆さんの友情に感謝します。



聖徳銘醸(株)を見学する  
ロドリゴ・コロネル大使(左)

### ニカラグアの文化に触れる

## ニカラグアコーナー



役場本庁舎ロビーにニカラグア共和国の風景写真や民芸品などを展示しています。お立ち寄りください。

## 新規会員を募集しています!

### 楽山園ボランティア

### 「楽山園友の会」



■問合せ先 社会教育課文化財保護係  
(内線521・523)

楽山園友の会は、楽山園を訪れる観光客をもてなしたり、清掃作業や庭園の手入れの手伝いなどをするボランティアの会です。

新規会員を募集していますので、ぜひご応募ください。

#### ●募集および活動の内容

- ① 20歳以上の健康な人で人との触れ合いが好きな人
- ② 年間おおむね12回程度の合同作業・イベント・自主作業な

どを行います。(合同作業は平日、イベントは土日・祝日、夜間で、2〜3時間程度の軽作業です)

#### ③研修会に参加可能な人

- ※報酬の支払い、交通費支給、飲食提供などはありません。
- ※会員になると、楽山園・歴史民俗資料館・長岡今朝吉記念ギャラリーの入園が無料になります。

### 主な活動内容

- 庭園の清掃、ごみ拾い、除草作業など
- 梅収穫、梅ジュース作り
- イベントの協力  
(御殿のお月見会・もみじウォークなど)
- 自分の特技や得意分野をいかした活動

梅ジュース作り

